



森ボラ 通信

第265号 2024年6月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター
TEL (fax.): (011) 816-7010
E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆2024年第2回親子森林教室報告

小雨模様で心配される中、6月9日の第2回親子森林教室は、一人の欠席者もなく森しり隊員16名、保護者13名、協会員15名、建設環境研究所から酒巻さんはじめ6名（昼から）の総勢50名で開催されました。

はじめに、司会の松藤事務局長から「今日のテーマはなにかな？」の質問に、隊員の手は上がらず、残念… 今回の活動テーマは「木のタネをまく」です。本日の活動スケジュールの紹介と恒例のラジオ体操の後、さっそく皆で脚立や高枝ハサミを積んだリヤカーを駐車場に向けて引っ張り上げました。3班に分かれてエゾヤマザクラの実と、シードトラップに落ちたハルニレのタネを集めました。エゾヤマザクラは熟れ具合が心配されましたが、十分に黒く熟した実を一人5個以上集めることができました。ハルニレは枝を揺ると丸いタネを入れた翼のような種子が無数に舞い散ってたくさん拾い集められました。



小屋前広場に戻り、小休憩の後、樞棒代表から「タネの話」を聴きました。木の増やし方や、タネはどうやって運ばれるかの話（翼の着いたハルニレは風によって、エゾヤマザクラは鳥や動物に食べられて糞に混じって運ばれる）に、保護者が大きく頷いて聴いているのが印象的でした。その後は各班に分かれて、まずはエゾヤマザクラのタネの準備です。キッチン手袋をして果実を潰してタネを出し、「どうして砂摺りをするのか？」の説明を聞きながら、タネをゴシゴシ擦って傷を付けました。手袋は果汁で真っ赤になりました。各自2つずつのポットに、2種のタネを植えて、木札に名前を書き苗床に置きました。芽が出るのが楽しみです。

昼食後、酒巻さんたちを待つ間に、素敵なアトラクションがありました。岸さんが、広場前の太い白樺の幹を2本の枝とロープだけで登る技を見せてくれました。いつの間にもどこで身に着けた技なのでしょう？！

午後は森の活動選択コースで、Aは酒巻さんリーダー、本郷補佐による川の生き物調査に隊員8名参加、Bは西野（澄）リーダーの森の花の観察に隊員4名参加、Cは石飛大将と岸補佐による森のロープ遊びに隊員4名が参加しました（+保護者）。AとBコースには、建設環境研究所から森や川の生き物、森の植物のそれぞれの専門家が入ってくれて大変豪華なチームになりました。以下、コースごとに報告してもらいました。

【A】森と川の生き物コース (by本郷さん)

建設環境研究所の昆虫お兄さん2名と川の生き物大好きお兄さんお二方というぜいたくな専門家の指導で、エゾサンショウウオの沼から中流橋そしてキャリコ橋を回りました。途中、これから新たにアリの巣の女王となるべく飛びたったばかりの羽アリ、準絶滅危惧種のサッポロマイマイ、木の根元にあった食べかけのドングリはネズミが食べたものということ、セミの抜け殻からセミの種類が特定できるということなどなど説明を受けました。今まで目に触れていても見えなかったことをたくさん教えてもらいま



した。補修が終わったキャリコ橋（参加父母の皆さん、建設環境研究所の皆さんから絶賛を浴びました）では、子供たちは多くの水生生物をタモですくいました。オニヤンマ、サナエトンボ、カゲロウ、トビケラの幼虫などに歓声をあげていました。木の葉にまかれていたトビケラの仲間はこれまで水質検査では見たことない種でした。子供たちに負けないくらい興奮して喜んでいる私ではありましたが、澄川の森が今までよりもっと好きになりました。広場までの路をセミの抜け殻を目ざとく見つけあつめている参加者もいて親子が楽しんでくれたことと思います。

【B】森の花の観察コース (by合田)

はじめに上流橋で、シイタケを探しましたが残念ながら収穫無しでした。坂を上ったところで、ミズナラが主のこの森ではめずらしい柏の木が1本あることが紹介され、葉っぱの違いを観ました。中流橋近くでは、ハクウンボクが白い可憐な花を満開に咲かせていました。この木は崖っぷちに生えていて、一昨年の大雨で崖が一部崩れたので、森ボラのおじさんたちが土留めをし、さらにロープで太い白樺に繋いで倒木を免れているという説明に、隊員や保護者から「ガンバレ、ハクウンボク」の声援が送られました。中流橋をわたるとコケイランや、ギンリョウソウを見つけ、腐生植物などの説明を聞きました。また、ササバギンランの群生にも出会いました。最後はレッドリストのひとつトケンランの「保護区」で小ぶりの花がいくつか咲いているのを見て、西野（澄）さんが「以前はもっとたくさんあったのに」と少し残念そうに話してくれました。専門家が何でも答えてくれるので、庭の花についての質問も保護者から出て、話は尽きません。子供たちは小さな野の花をしゃがんで覗き込んで見ていました。

【C】森のロープ遊び (by岸さん)

はじめに綱渡りで遊んだ後、石飛さんの指導のもとロープワークの練習をしました。大人も苦戦する中、呑み込みの早い子はすぐにできていて驚きました。行ったロープワークの名前は、引き解け結び、バタフライノット、もやい結び、巻き結び、8の字結び、自在結び、シートバンドです。（影の声；うわーっ、すごい！専門的ですね！）覚えたロープワークは是非キャンプなどで使ってみてください。



どの選択コースもとても盛り上がったようです。終礼で聞いた感想は皆さんとても楽しかったという声ばかりでした。お天気ももってくれて本当に良かったです。（文まとめ・合田）

◆ 最近の活動報告

最近の札幌近郊での活動を報告します。

【野幌トトロップの森】

江別市国有林49、50林班では2022年から自然再生事業に取り組んでいます。昨年は「クマ注意報」により植樹会が出来なかったため、5月23日に会員、(株)日本道路社員ほかの皆様の協力を得て植樹を行いました。植樹の本数は広葉樹ではミズナラ、ハルニレ、ヤチダモなど10種130本、針葉樹はアカエゾマツ、トドマツそれぞれ65本、合計260本でした。広葉樹には動物による食害防止のツリーシェルター(高さ1.7m)を設置しました。10月にはオイスカ・ユネスコ植樹祭として50林班り林小班に針葉樹860本程の植樹を予定しています。皆様多数の参加をお願いします



【CGC鳥柵舞の森】

千歳市国有林5334林班ろ林小班では過去に植栽した広葉樹の苗がシカ、ウサギなどの動物による食害により全滅しました。この経験を踏まえ昨年より広葉樹植栽列に食害に強い針葉樹を植樹しています。今年5月28、29日に鳥柵舞5、9、16区にアカエゾマツ700本を植えました。一昨年の春に植栽箇所が気象条件などにより枯死した苗が多かったため補植も合わせて実施しました。今回の



苗購入費などは（一財）セブンイレブン記念財団活動助成金を活用し、10月にも同様な規模の植樹を予定しています。植えた苗が根づくことを切に祈っています。

【CGC水明郷の森】

千歳市国有林5456林班は林小班では、2009年から育林活動を続けています。ここでも広葉樹が食害によりイヌエンジュ以外は全滅しています。2019年から林野庁の森林・山村多面的事業の交付金によりトド

マツ1,000本余りを補植し、昨年よりCGCみどりところの基金の助成により草刈りなどの育林活動を行っています。今年6月13、14日に弱年齢の補植苗列と作業道の草刈り、そして定点観測地点までの草刈りおよび写真撮影を行ってきました。植栽列の間の自然発生列では当初はタランボばかりでしたが現在はシラカンバ、ミズナラ、ホオノキ、イタヤカエデなどの広葉樹が茂り、立派な針広混交林になってきました。（文・榎棒）



定点観測地点からの状況



作業道の草刈り状況

■ お知らせ

◆ほくくー基金「北海道生物多様性保全助成制度」採択

同基金には「札幌市澄川都市環境林右精進川の水質・水生生物調査」との活動テーマにて応募したところ、「トムコース」11団体の一つとして見事採択となりました

6月5日に北洋銀行大通センターセミナーホールにて助成金贈呈式が行われ「ほくくーコース」8先と共に当協会から榎棒代表、松藤事務局長が出席し助成金の目録を受け取りました。今回の基金では澄川環境林の右精進川で行われている水質調査の水生昆虫同定の講師料および胴長、長靴、ルーペなどの器具の購入に充てる予定です。今後も会員皆様の協力をお願いします。（文・事務局）



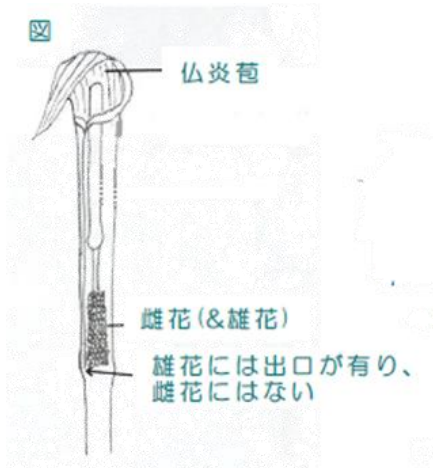
奥の列左端が榎棒代表

■ 澄川の自然 58

マムシグサ(サトイモ科)

昨年秋、小屋前広場の周りの柳の木を3本伐りました。春、柳の木の綿毛とその後の毛虫の落下に悩まされていたのですがスッキリしました。その時、1本の柳の木を伐るとき、ヤマグワの木がまき込まれて倒されてしまいました。

今年の春、ヤマグワが無くなった後に陽が当たってマムシグサが6本ニョキニョキと生えてきました。



マムシグサの名前の由来は茎の紫褐色のマダラ模様が蝮の姿に似ている事、又苞の形がマムシの鎌首をもたげている形に似ていることで名付けられた。

雌、雄異株。雄花にやってきた虫は、鎌首に似た仏炎苞に入り、中の花の蜜を吸います。蜜を吸った虫は仏炎苞の壁を登ろうとするのですがツルツルしていてもがき、花粉まみれになり下に落ちます。雄花には下に穴が開いていて脱出出来る。花粉を付けた虫が次に雌花を訪れる。ここでも上に這い上がられないのもがき、雌花に沢山の花粉を付け(受粉)、それから下に落ちる。雌花には脱出する穴はないので、虫はここで一生を終える。自然界は厳しい。

(写真/三橋・文/西野(澄))

■今月の幹事会

出席者(6/5):大窪・荻田・檀棒・加藤・清澤・松藤・矢野・西野(澄)・平・早坂・老田・丸尾

1. 2024年7月、8月活動スケジュール(7月幹事会7/10(水)):了承
2. 2024年度5月会計報告:了承
3. 2024年度多面対策交付金事業5月報告:了承
4. 第22回総会議事録と理事重任登記:了承
5. 札幌市との打ち合わせ結果報告:北側作業道延伸スケジュールは業者が契約後に打ち合わせ実施。
6. 現場報告
 - ・木道補修:予定通りに終了。
7. その他
 - ・森ボラ新ホームページ進捗報告:5月の訪問数2,553件。了承
 - ・天候による活動可否基準(案):中止の連絡をホームページ主体で行う。
 - ・須田会員からの意見:植樹が急ぎすぎる。列の直線性を確保などの問題提起。次回は改善を!
 - ・札幌市入札参加登録の検討:継続して検討。
 - ・来年度の親子森林教室の検討:会員の参加が少ないなどの問題点があり検討を継続。
 - ・研修旅行:検討を進める。

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
5月17日(金)	野幌道有林	9	下草刈り、外来種駆除(アメリカアザミ)
5月20日(月)	澄川	17	水質調査、木道補修、植菌
5月23日(木)	澄川	11	木道補修、苗畑整備、コクワ棚整備
5月25日(土)	野幌国有林	11	植樹(広葉樹130本、針葉樹130本)
5月28日(火)	澄川	5	木道補修、シートトラップ設置
5月28日(火)	支笏湖(烏柵舞)	14	アケゾマツ補植500本
5月29日(水)		14	アケゾマツ補植208本
6月1日(土)	澄川	9	刈払い機・チェーン安全操作講習、木道補修、北地区整備
6月4日(火)	澄川	13	澄川南小3年自然観察会、木道補修、親子準備、作業道草刈り
6月5日(水)	ラルズ生活研究センター2F	12	幹事会
6月7日(金)	澄川	11	春の清掃活動、作業道草刈り、植菌、木道補修
6月9日(日)	澄川	16	第2回親子森林教室(種の採取、播種、森の活動(選択))
6月11日(火)	澄川	18	(株)じょうてつCSR、作業道草刈り、運材
6月13日(木)	支笏湖(水明郷)	14	補植列刈り、作業道草刈り
6月14日(金)		14	作業道草刈り、定点観測